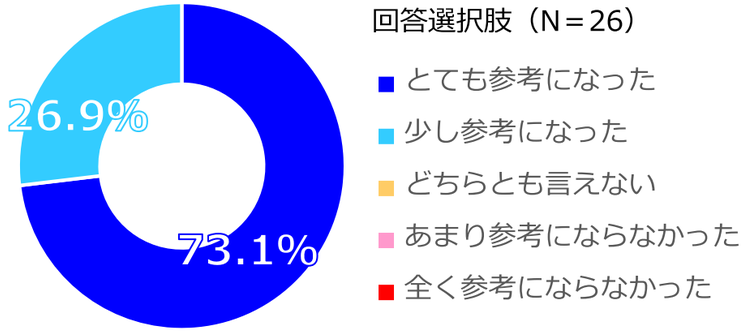
（開催後アンケート）Q. 原子力発電所の視察はいかがでしたか？

支援校の参加生徒を対象とした、開催後のアンケート調査では、肯定的な意見が100%を占めるなど、参加した生徒にとって非常に貴重な体験だったようです。



04. 施設見学② 大洗原子力工学研究所

2日目の7/30(木)には、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の大洗原子力工学研究所の視察を実施しました。「原子力＝原子力発電」という認識が強くあったためか、さまざまな応用や付随する技術に対し、生徒たちも興味津々な様子でした。



参加生徒からのコメント

普段入れない場所に多く入ることができて、貴重な経験になりました。新しく知ることも多く、深い学びの機会になりました。

施設の多様な取り組みを知ることができました。建物の1つひとつにさまざまな工夫があって面白く、すごいと思いました。



説明を聞いて目で見ることで、より理解が深まりました。今回見学する中で分からない用語が出てきたので、もっと勉強したいと思いました。







各支援校の活動の様子はInstagramからチェック！

KADAI_JAERO

各校の活動詳細はエネ百科でも公開中！

エネ百科 きみと、未来と。

主催：一般財団法人 JAERO 日本原子力文化財団　共催：電気事業連合会

お問い合わせ：(一財)日本原子力文化財団　企画部　☎03-6891-1572　✉kadai@jaero.or.jp

REPORT in 2026

2026.7.29～30 @茨城県



第9回 課題研究活動支援事業 交流会＆施設見学会

2026年7月29日(水)～30日(木)にかけ、施設見学会および交流会を茨城県にて開催し、課題研究活動支援校の生徒・教員、総勢37名が現地で参加しました。

支援校一覧　～ 研究テーマをご紹介！～



市立札幌開成中等教育学校

火力発電に変わる
新しい発電方法の課題解決



栃木県立大田原高等学校

未来の電気はどう選ぶべきか
～電気料金と価値観から考える
エネルギーミックス～



栄東高等学校（核融合班）

フュージョンエネルギー（核融合発電）の
実用化可能性と将来のエネルギーミックス



栄東高等学校（洋上風力班）

エネルギーミックスの最適化
～北海道・日本海側における洋上風力
発電の導入可能性と日本の将来
電源構成の検討～



山梨県立甲府東高等学校

再生可能エネルギーの余剰電力を
水素へ変える地域戦略
～山梨県の水素エネルギー活用と
福島県の復興型エネルギー転換から～



大阪府立咲くやこの花高等学校

中学生を主対象としたエネルギー
・放射線物理の理解度向上方策
～高校生による実践と効果検証～



桃山学院高等部

大阪の持続可能な未来を拓く2040年エネルギー戦略　～都市型ペロブスカイト太陽光発電の導入モデルと、地熱・原子力発電を組み合わせたエネルギーミックスの考察～



関西学院高等部

廃棄物から考える
エネルギー問題への関心と展望
～クリアランス製品を実際に手にして考える～



山口県立宇部商業高等学校

原子力・エネルギーの『未来予想図』
～電気料金の上昇から考える、
アプリによる次世代教育の実践～



愛媛県立新居浜工業高等学校

日本における新たな原子力発電の
未来の姿ついて
～小型原子炉の可能性を考える～

1日目には、日本原子力発電株式会社の協力の下、東海第二発電所の視察を実施することで、原子力発電に対する理解を深めました。また、各学校が研究内容の紹介・グループワークを通じて意見交換を行い、互いの研究や意見に触れることで新たな気づきを得る機会となりました。
2日目には、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構の協力の下、大洗原子力工学研究所を視察し、新たな技術開発の分野を目にすることで、生徒たちの視野を広げる機会となりました。

01
施設見学①
日本原子力発電株式会社
東海第二発電所
7/29(水)13:20～15:00



02
各支援校の発表
「学校＆研究紹介」
7/29(水)18:00～19:45



03
グループワーク
「原子力発電所のイメージは？」
7/29(水)19:50～21:00

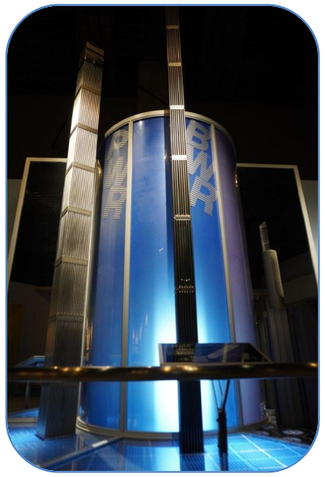


04
施設見学②
国立研究開発法人
日本原子力研究開発機構
大洗原子力工学研究所
7/30(木)09:00～12:30



01. 施設見学① 東海第二発電所

初日である7/29(水)には、日本原子力発電株式会社の東海第二発電所の視察を実施しました。
参加生徒たちの多くは初めて原子力発電所を見たこともあり、入構時のチェックにおけるセキュリティの厳格さや、防潮堤をはじめとしたさまざまな安全性向上対策を直接目にすることで、原子力発電所の安全性を実感した機会となりました。



参加生徒からのコメント

さまざま安全対策を取られていることへの安心感とともに、工事の規模感の大きさに驚かされました。

原子力発電は3.11以来、危険なものという認識が強かったですが、さまざまな3.11の反省が生かされた安全対策がされているのを知り、認識が改まりました。

原子力発電所の規模感や現在の使われ方、構造などが何もわからない状況からの視察だったので、それらを理解できました。根本的な内容が分かり、参考になりました。







02. 各支援校の発表「学校＆研究紹介」

東海第二発電所の視察終了後には、別会場に移動し、参加校それぞれに自らの学校の特色と、グループで取り組む研究内容を発表してもらう場を設けました。



03. グループワーク「原子力発電所のイメージは？」

原子力発電所の視察直後ということもあり、原子力発電所のイメージが視察前後でどうなったかについて、グループワークを実施しました。特に安全面では、安全対策の厳格さを目の当たりにし、漠然とした不安感が払拭され、しっかりとした安全対策への感心がどのグループにも見られました。

参加生徒からのコメント

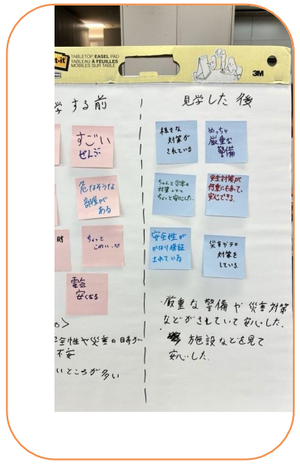
同じ意見も多かったですが、実際に発電所などを訪れることで「身近に感じられた」という新たな考えを知ることもできました。

原子力について理解を深めることができました。他校の生徒の意見から自分では考えられなかった視点を得ることができました。









・赤い付箋…見学前の印象
・青い付箋…見学後の印象